

平成24年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	経済格差のダイナミズム：雇用・教育・健康と再分配政策のパネル分析
研究代表者	樋口 美雄
審査の所見	本研究は、パネルデータを構築して、ミクロ動学理論に基づき分析し、それを通じて経済格差をダイナミックに研究するものである。応募者は、パネルデータ構築の実績があり、日本における経済格差を、労働・教育・再分配政策を含め、多角的な観点から掘り下げようという点において斬新な発想を持っている。本研究から得られたデータの信頼度は高く、他国との比較研究が十分に可能となることから、国際的にも高い水準の研究成果が期待される。以上の理由により、特別推進研究として推進することが適切と考えられた。